

「伊豆アドベンチャーレース」

目的

- ・地域における様々な要素が有機的に結びつき付加価値を生み出す「好循環」の実現
- ・豊かな自然を活かした都市農村交流の推進

➡ 観光の振興による
地域経済の活性化

目標

(観光交流客数の目標)

(単位：千人)

| | 昭和 63 年度 | 平成 3 年度 | 平成 12 年度 | 平成 14 年度 | 平成 22 年度 |
|-------|----------|---------|----------|----------|----------|
| 静岡県計 | 141,482 | 131,162 | 122,379 | 129,151 | 140,000 |
| 計画区域計 | 30,523 | 25,066 | 16,947 | 16,652 | 18,051 |

地域特性

伊豆市、下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町
賀茂村、戸田村
9市町村

- ・アドベンチャーレースをはじめとした新たなスポーツやマリンレジャー、地域の自然を活用した体験型の旅行商品造成の取組がなされつつあり、関連産業にも波及
- ・豊富な自然資源や観光資源を活用して各市町村が観光振興に取り組むが、長引く景気低迷や旅行形態の変化等により、全体としては観光客の減少傾向が続く

施策の方向

- ・自然を利用した各種スポーツ大会の開催
- ・地域の歴史や文化を活かしたイベントの推進
- ・都市住民と農山漁村の交流
- ・コミュニティ活動の推進

地域再生（支援措置）

映画ロケ、イベント等及びカーレースに伴う道路使用許可の円滑化
道路使用許可・道路占用許可の手续改善
伊豆アドベンチャーレース実行委員会

特区（規制の特例措置）

国立・国定公園における自然を活用した催しの容易化
伊豆アドベンチャーレース実行委員会

効果

豊かな自然を活用した事業展開による交流客数の増加

観光関連産業を中心とした経済波及効果
地域経済活性化のモデルとして全国へ波及

伊豆アドベンチャーレース

地域再生
構造改革特区 認定

レースの概要

チームは女性1名以上を加えた3名の競技者とサポート2名の計5名で構成する。
コースは海・山・川等、伊豆の大自然を使用し、前日に公表する。
コースごとに指定されたアイテムを使用して、制限時間内に走破する。
コース地図とコンパスを使用する。

伊豆アドベンチャーレース実行委員会

松崎港スタート 23組



シーカヤック



岩地沖 シュノーケリング



公道をトレッキング



マウンテンバイク



黄金崎沖 シーカヤック





河津七滝のキャニオニング



地元住民による猪鍋サービス



海岸沿いをトレッキング



伊豆最南端の石廊崎
2チーム完走



開会式と表彰式
松崎小学校体育館



レースコース



レース期間：9月18日(土)~20日(月)

累積標高差(登り)：11,224m

コース総距離：219.1km

| | | |
|------|--|---------|
| 第1レグ | シーカヤック(松崎海岸~岩地~戸田) | 35.7 km |
| 第2レグ | トレッキング(戸田~だるま山高原レストハウス：一部公道使用) | 13.2 km |
| 第3レグ | マウンテンバイク(だるま山高原レストハウス~天城放牧場：林道・一部公道使用) | 46.4 km |
| 第4レグ | トレッキング(天城放牧場~纂木山) | 27.4 km |
| 第5レグ | マウンテンバイク(纂木山~八丁池口駐車場：林道・一部公道使用) | 19.6 km |
| 第6レグ | キャニオニング(八丁池口駐車場~河津七滝：一部公道使用) | 11.5 km |
| 第7レグ | マウンテンバイク(河津七滝~大鍋越：林道・一部公道使用) | 24.2 km |
| 第8レグ | トレッキング(大鍋越~子浦：一部公道使用) | 23.2 km |
| 第9レグ | カヌー(子浦~妻良)、トレッキング(妻良~石廊崎：一部公道使用) | 17.9 km |

認定の効果と今後の課題

支援措置・特例の活用による効果

活用支援措置(地域再生)

「映画ロケ、イベント等及びカーレースに伴う道路使用許可の円滑化」
「道路使用許可・道路占用許可の手續改善」

初の公道使用許可及び使用手續の改善

- ・過去のレースで認められなかった公道使用が初めて許可され、コース設定作業が大幅に短縮
- ・県警本部及び所轄警察署の協力による道路使用許可の一括申請等により、許可申請手續の大幅な負担軽減

活用特例(構造改革特区)

「国立・国定公園における自然を活用した催しの容易化」

行政機関等との調整の円滑化

- ・自然保護事務所や森林監督署等の国の機関をはじめ関係行政機関との調整が円滑に進行

計画認定による情報発信と波及効果

新聞報道等による情報発信

- ・計画認定に伴う多くの新聞報道等による幅広い情報発信による全国へのアナウンス効果、地域への周知・理解促進

波及効果

- ・松崎町でのテレビドラマロケにおいても、道路使用許可の柔軟化により、順調に撮影が行われ、地域の魅力を発信
- ・道路使用許可の改善によるロケ誘致増大をきっかけとした交流人口の拡大・地域経済活性化に期待

今後の課題

地域活性化に結びつく効果的な集客対策

- ・レース自体は、コースの大半を海上・林道が占め観客動員に限界があるため、地域資源を生かした集客イベントとの複合化の工夫が求められる

レース運営体制の確保

- ・レースの大規模化に伴う、運営経費確保・スタッフ人員不足対策